

14 入善町（2校）

チャレンジ10通信

- ・ 上青小学校
- ・ ひばり野小学校

学校名	入善町立上青小学校		
担当推進員	明地 兼二 さん		
取組み期間	令和3年7月26日～8月29日	参加児童数	15 人

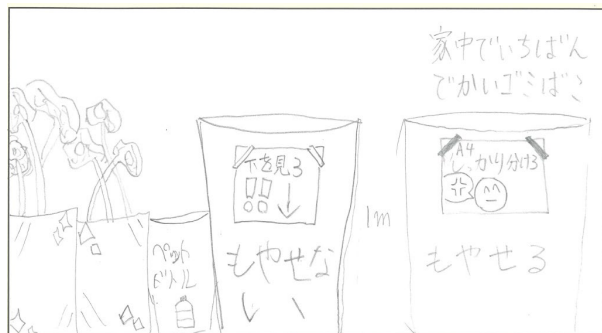
環境チャレンジ教室（前編）

- 日 時 令和3年7月3日（土）14：25～15：10
- 使用教材
自作パワーポイント、吊下げ二酸化炭素濃度カード、ファン
- 説明内容など
- ・自己紹介と入善町の自然の恵み（水・木・風）について
 - ・2100年の天気予報
 - ・地球温暖化（仕組み）について
 - ・世界と富山で起きていること
 - ・体験「風（うちわ・ファン）の力で電気を作る」
 - ・環境大臣任命式

環境チャレンジ教室（後編）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止

【絵コ日記のご紹介】



9月17日（金）

私はきほんてきにはでなポスターを
は、てまちがえなようにしているけど
たまに、ゴミ箱を見ないでポイントす
る時があつたのでこのままにして
毎日にれからも心がけたいです。

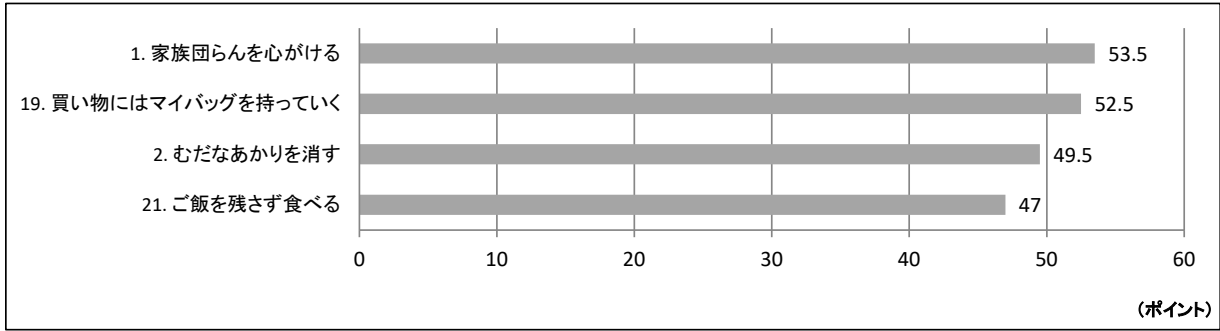
推進員から児童のみなさんへのメッセージ

継続するには、家族で分担、期日を決めて楽しみましょう。必ずママ、パパの財布は膨らみます。

上青 小学校のみなさんへ

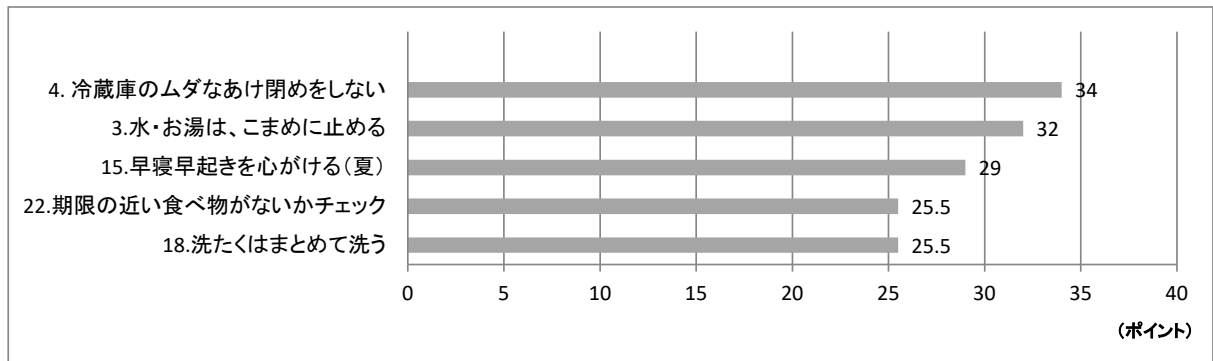
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

1. 「かならずチャレンジ(4つのとりくみ)」がんばり度ランキング(※ポイント制)



※ポイント制: 「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度上位ランキング(ポイント制)



2. みんなでへらした地球をあたためるガス(二酸化炭素) 約 516 kg

とりくみの効果(目安)



■ サッカーボールで例えると・・・

約 51,588 個分

※サッカーボール1個(体積)は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 37 本分

※大きく成長した杉の木(50年で高さが20~30m)は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。(参考:地球温暖化防止ポータルサイト)



■ 節約できた金額は・・・

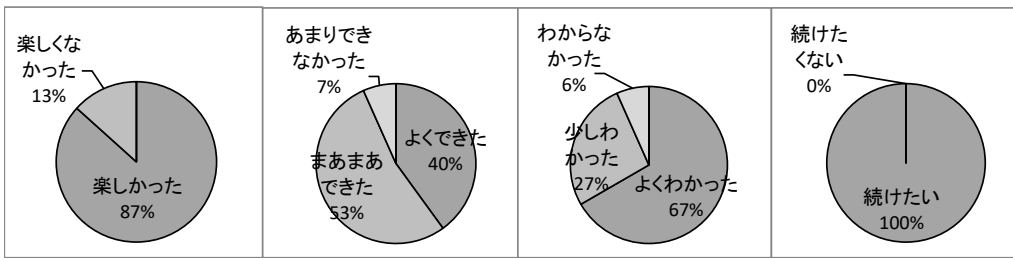
約 57,540 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルなどを再生広場に持って行った。 みんなで協力して家族団らんをした。 出かけるときはかばんにマイバッグを入れるようにした。 家族に声をかけ、チャレンジ10に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日に使うティッシュの数を5枚以下にする。 ごみをむだに出さない。

4. ふりかえり

- ①やま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

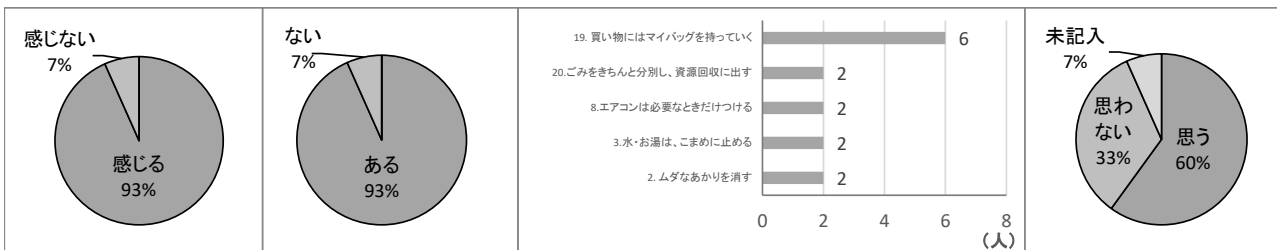


感想やがんばりたいこと

- 地球温暖化防止の方法をもっと知りたい。
- 取り組みを続けると節約もできるからいいと思った。
- 「できなかった」シールの取り組みをがんばりたい。
- これからもマイバッグを持ち歩こうと思います。
- リサイクルにもっと協力する。
- ごみの分別をしっかりとがんばりたい。
- ゲームをする時間をもっと減らして、その分運動をするようにしたい。

5. ご家族の方へのアンケート

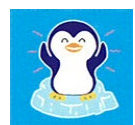
- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- 暑さの厳しい中、冷房を使用することが多かったことで、なるべく同じ部屋で過ごしたり、寝る部屋を同じにしたりし、個々の部屋で冷房や電気を使わないようにしていました。
- 電気のむだ使いをしているとき、お互い節約するように声をかけ合う。
- 1人1人ができることを自分で考えて協力し合うようにしている。
- マイバッグ持参以外の家庭でできる取り組みを積極的にしてほしいです。
- とりくみノートを冷蔵庫にはって、目につくようにしました。その結果、家族それぞれ気を付けていたと思います。

これからもチャレンジ10のとりくみを続けましょう！



学校名	入善町立ひばり野小学校		
担当推進員	佐藤 幸雄 さん		
取組み期間	令和3年6月28日～8月29日	参加児童数	12 人

環境チャレンジ教室（前編）

- 日 時 令和3年6月28日（月）9：30～10：15
- 使用教材
 - ・手回し発電機、蛍光灯・白熱電球比較器（財団より借用）
- 説明内容など
 - ・チャレンジ10について（10才、10個の取組み）
 - ・「地球温暖化」について説明
 - ・1℃上昇したことによる影響について説明
 - ・地球温暖化の原因である二酸化炭素について説明
 - ・3R及び食品ロスについて説明
 - ・とやま環境チャレンジ10の取組みの説明

環境チャレンジ教室（後編）

- 日 時 令和3年10月25日（月）9：30～10：15
- 使用教材
 - ・パワーポイントを使用して説明
- 説明内容など
 - ・口頭による説明（パワポの画面を使用）
 - ・チャレンジ10 通信報告内容の説明
 - ・前記の一部、復習をした
 - ・二酸化炭素について
 - 地球上の二酸化炭素について
 - 簡単な実験（水に溶ける）を行った（全員）
 - ・チャレンジ10の継続実施の大切さを説明

【環境チャレンジ教室の様子】



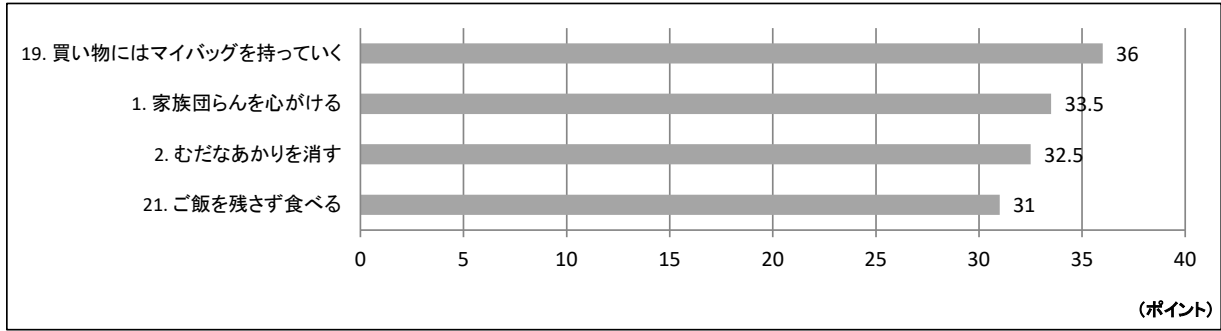
推進員から児童のみなさんへのメッセージ

チャレンジ10で夏休みの取組みを楽しく実施してもらえて良かったです。自分たちが出来ることを、一つひとつ続けていくことが大切で、これからも楽しく地球温暖化防止の活動に取り組んで欲しいです。

ひばり野 小学校のみなさんへ

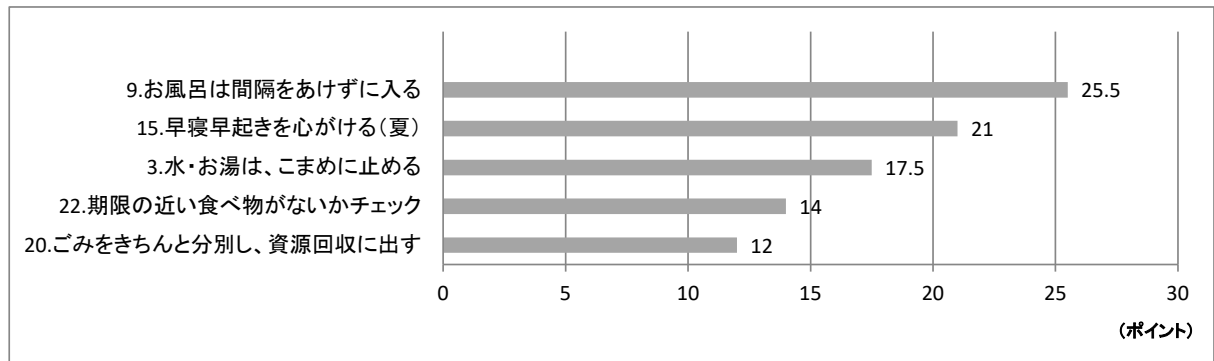
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、お知らせします。

1. 「かならずチャレンジ(4つのとりくみ)」がんばり度ランキング (※ポイント制)



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度上位ランキング (ポイント制)



2. みんなでへらした地球をあたためるガス (二酸化炭素) 約 361 kg

とりくみの効果 (目安)



■ サッカーボールで例えると・・・

約 36,148 個分

※サッカーボール1個(体積)は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 26 本分

※大きく成長した杉の木(50年で高さが20~30m)は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。(参考：地球温暖化防止ポータルサイト)



■ 節約できた金額は・・・

約 37,391 円

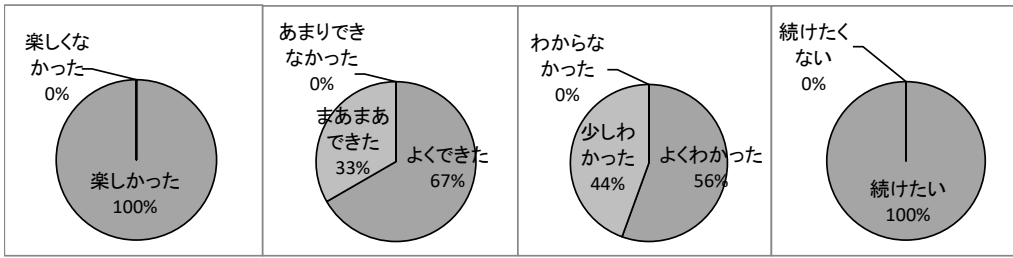
3. 工夫したこと、独自のとりくみ

工夫したこと	独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> お互い電気を消すように声をかけた。 家族でトイレの便座のふたを閉めようと話し合った。 ゲームの時間を減らした。 夕ご飯のためにおかしを食べ過ぎないようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝は日が当たるところは電気をつけない。

など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題かわかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

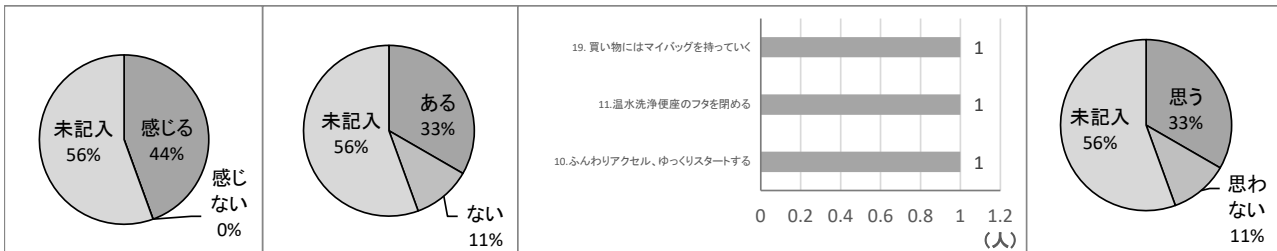


〇感想やがんばりたいこと

- これからも電気を消すようにします。
- これからもエコ生活を続けてがんばりたいです。
- もっといろいろな地球温暖化防止活動を取り組みたいです。
- これからも地球温暖化を止める取り組みをしたいです。
- 普段やっている行動を地球温暖化防止の取り組みにつなげることは難しいことがわかった。
- 家族みんなで力を合わせられてうれしかった。
- これからはちがう取り組みもしてみようと思いました。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



〇感想や意見

- ペットボトルをゴミに出す際に、なるべくつぶすなどの工夫をした。
- 子どもが自主的にやってみよう、これならできると思うことに取り組むことで、大人も一緒に取り組みやすくなりました。
- 電気のつけっぱなし、マイバッグの持参など、子どもも意識するようになったので、良い傾向だと思えます。

これからもチャレンジ10のとりくみを続けましょう！

